

工事中の防火安全計画書

施設	所在地	大阪市此花区夢洲中1丁目（博覧会会場内〇〇）
	名称	〇〇施設
	用途	展示場、飲食店、物品販売店舗、劇場等
	管理権原者	〇〇 〇〇
	防火管理者	〇〇 〇〇
工事施工業者	所在地	大阪市〇〇区〇〇〇
	名称	〇〇株式会社
	施工責任者	〇〇 〇〇
工事期間	令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日	
工事概要	<p>具体的にどのような工事を行うかを記入。</p> <p>（例）施設1階のレイアウト変更に伴う壁、天井の撤去、設置工事（ガス若しくは電気等による溶接・溶断作業による火花を発生する作業あり）</p>	
その他		

<p>工事現場における火気の使用状況及び管理状況</p>	<p>切断用のカッター・溶接溶断などの火花の飛び火に関する警戒の方法、溶接溶断用のアセチレンボンベ等・塗装に使用するシンナー等の危険物の取り扱いを具体的に記入する。</p> <p>(例) ガス溶断機を使用する際は、防災シートを活用して行い、近くに消火器を設置することにより初期消火対策を図る。</p>		
<p>消防法令に定める危険物の取扱い状況</p>	<p>品 名</p>	<p>最大貯蔵量</p>	<p>一日の最大貯蔵量</p>
<p>危険物の品名、最大貯蔵量、一日の最大貯蔵量を記入。</p>			
<p>高圧ガス等の取扱い状況</p>	<p>品 名</p>	<p>最大貯蔵量</p>	<p>一日の最大貯蔵量</p>
<p>高圧ガスの品名、最大貯蔵量、一日の最大貯蔵量を記入。</p>			
<p>消防用設備等の停止状況及び対策</p>	<p>工事中における自動火災報知設備等の一部停止などを行う場合の措置、警戒の方法及び対策について記入。</p>		
<p>工事終業時の点検実施計画概要</p>	<p>工事終業時の具体的な点検実施計画について記入。</p>		
<p>工事期間中における防火管理者と工事施工業者との防火安全対策上の連携</p>	<p>各関係者との防火安全対策上の連携について記入。 ※緊急時の連絡体制は別紙 1</p>		

工事中の防火安全計画

1 目的及び適用範囲

大阪・関西万博会場内の工事中の建築物等における火災予防及び火災等が発生した場合の人命の安全と被害の軽減を図ることを目的とする。また、その適用範囲は、工事に従事する者及び工事現場に出入りする全ての者に適用する。

2 施工責任者

工事中の建築物等の当該工事に係る防火管理について、
(施工責任者)： 〇〇 〇〇 が責任を有する。

3 安全管理者の選任

施工責任者は、防火管理上の防火安全対策を実行する者として
(安全管理者)： 〇〇 〇〇 を選任する。（※監督的な地位にある者の中から選任すること）

4 安全担当者の指名

安全管理者は、火災予防対策の徹底を図るため、工事グループ毎に「安全担当者」を定める。

安全担当者①： 〇〇 〇〇 安全担当者②： 〇〇 〇〇 安全担当者③： 〇〇 〇〇

5 安全管理者の権限及び業務

安全管理者は、工事中の建築物等の防火安全対策を進めるために必要な権限を有し、次に掲げる業務を担当する。

- (1) 防火安全計画書の作成（変更）に関すること。
- (2) 電気設備、危険物、溶接機器、高圧ガス及び塗料等の使用状況と保管状況の実態把握並びに不備欠陥事項の改修に関すること。
- (3) 工事工程上必要な消防用設備等の設置と維持管理及び点検に関すること。
- (4) 火気の使用又は取り扱いについての指導、監督に関すること。
- (5) 施工責任者に対する助言及び報告に関すること。
- (6) 安全担当者に対する指導、監督に関すること。
- (7) 工事従事者の把握に関すること。
- (8) 応急救護体制の策定に関すること。
- (9) その他防火安全対策上必要な事項に関すること。

6 工事安全対策会議の設置

工事中の防火安全対策の徹底を図るため、安全管理者、安全担当者その他施工責任者が指定する者による会議を定期的開催し、分担している工事部分の相互連絡体制（別紙1）を確保するとともに、工事の進捗状況、防火安全対策等について協議する。

7 関係書類の準備

効果的な防火安全対策管理を図るため、次に掲げる書類を備える。

- (1) 作業工程表
- (2) 電気設備、危険物施設、溶接機器、高圧ガス及び塗料等の使用場所、保管場所の配置図
- (3) 施工責任者、安全管理者、安全担当者等の名簿及び担当範囲区域図
- (4) その他防火安全対策に必要な書類

8 火災予防上の遵守事項

工事に従事する者及び工事現場に出入りする者が、火災予防のために守るべき事項を次のとおり定める。

(1) 工事関係資材の管理

工事関係資材及び廃材は、施工責任者が指定する安全な場所に集積し、常に整理整頓することとし、特に放火対策として監視者を常駐させるなどの安全対策を実施する。

(2) 喫煙の管理

喫煙場所は火災予防上安全な場所とし、施工責任者が指定する。喫煙場所は、適宜、吸殻の清掃を行う。

(3) 火気の管理

ア 火気を使用する場合は、その都度、安全管理者の承認を得るものとし、周囲に可燃物が配置されていないかを確認し、消火器等の消火設備を適正に配置する。

イ 火花を生じるような作業を行う場合は、火花受け等の防護措置を講じるとともに、周囲の可燃物を除去し、消火器等の消火設備を適正に配置する。

ウ 安全担当者は、火気使用後に当該使用した場所を必ず点検し、終業時の火気点検結果を安全管理者に報告する。

(4) 危険物等の管理

ア 引火性、爆発性物品は、必要最小限の搬入とする。

イ 引火性、爆発性物品の保管場所は、施工責任者が指定する場所とし、その場所には「物品名」、「数量」及び「火気厳禁」などの表示を行う。

ウ 引火性、爆発性物品を使用する場合は、その都度、安全管理者の承認を得るものとし、安全担当者は当該物品を取り扱う者に対し、火災予防上必要な事項を厳守するよう指示、監督する。

9 自主点検の実施

安全管理者及び安全担当者は、火気使用場所、電気設備、危険物施設等の使用、保管状況の点検について、自主点検表（別紙2）を活用し適宜実施する。

10 火災発生時の対策

(1) 自衛消防組織の編成等

工事現場の実情に応じた自衛消防の組織編成表（別紙3）のとおり定める。

(2) 火災発生時の活動

火災発生時には、消防隊が到着するまでの間、定められた任務に基づき被害を最小限にとどめるための自衛消防活動を行う。

(3) 自衛消防組織の連携

建築物等施設の管理権原者・防火管理者との連絡体制（別紙1）を確立し、火災が発生したときは、施設関係者と連携して効果的な自衛消防活動を行う。

11 防火・防災教育

安全管理者は工事を開始する日までに上記8.火災予防上の遵守事項、9.自主点検の実施、10.火災発生時の対策を工事関係者に周知徹底する。

12 防火安全計画書の運用

この防火安全計画書は 2025年 ○月○日 から運用する。

工事中の連絡体制

《施設》

管理権原者	〇〇 〇〇
-------	-------

防火管理者	〇〇 〇〇
連絡先	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇

《工事施工業者》

施工責任者	〇〇 〇〇
連絡先	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇

安全管理者	〇〇 〇〇
連絡先	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇

安全担当者	〇〇 〇〇
連絡先	〇〇-〇〇-〇〇
工事対象	〇階〇部分

安全担当者	〇〇 〇〇
連絡先	〇〇-〇〇-〇〇
工事対象	〇階〇部分

安全担当者	〇〇 〇〇
連絡先	〇〇-〇〇-〇〇
工事対象	〇階〇部分

自主点検表

点 検 日	○月×日 (月)	() 日	() 日	() 日	() 日	() 日	() 日
時 間	10:00 ～ 10:30	: ~	: ~	: ~	: ~	: ~	: ~
点 検 者	〇〇 〇〇						
火気使用場所等の始業前点検							
火気使用部分	周囲の可燃物の除去						
	消火器等の設置						
危険物等の管理	数量の確認						
	保管状況の確認						
電気設備等の管理	設備(器具)の 状態確認						
	保管状況の確認						
喫煙場所の清掃実施							
火気使用場所等の終業点検							
不備事項の是正	<div style="border: 1px solid red; padding: 10px; margin: 10px;"> <p>左記チェック項目について</p> <p>凡例 ○…良 ×…不備 ⊗…即時是正</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 10px; margin: 10px;"> <p>不備事項の是正について記入 (例) ○月×日 1階において工事作業後〇〇が存置されたままであった。即時撤去。</p> </div>						

※ チェックして不備があったときは不備事項の是正欄にその場所と是正内容を記入すること。

※ 不備事項は即時に是正すること。

自衛消防の組織編成表

役割		災害等発生時の任務
リーダー (○○ ○○)		活動を指揮する。
サブリーダー (○○ ○○)		リーダーを補助する。 リーダーの代理として活動を指揮する。
通報班	班員 (○○ ○○)	<ol style="list-style-type: none"> 1 非常ベル、非常放送設備等の起動や声で、火災の発生を知らせる。 2 119番(消防機関)通報する。 3 防災センター等関係先へ連絡する。
初期消火班	班員 (○○ ○○)	<p>リーダー・サブリーダー・班員欄には役職や氏名を記載</p> <p>(役職例) 現場監督、施工責任者、安全管理者、○○安全担当者など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 屋外消火栓設備、屋内消火栓設備の設置がある建物は、これを活用して消火する。
避難誘導班	班員 (○○ ○○)	<ol style="list-style-type: none"> 1 避難誘導は、大声で簡潔に行いパニック防止に全力をあげる。 2 安全に避難できる方向へ誘導する。 3 けが人や逃げ遅れた人がいないか確認する。

※ けが人や逃げ遅れた人がいる場合は、任務等に関係なく、全員で協力して補助し、避難誘導にあたる。